

足助高校通信

「新型コロナウイルス禍の一学期を振り返って」

昨年度の3月2日から県内の公立高校は一斉に臨時休業となり、3学期の終業式も4月の新年度始業式も行うことができず、約3か月間、感染拡大予防のため、外出自粛など不自由な生活を送ったことと思います。その間、登校日を設定し、学習支援など行ってきました。そして、5月25日（月）からの分散登校を経て、6月1日（月）から平常通りの学校を再開し、約一か月が経ちました。「緊急事態宣言の解除」でこの緊急事態が終わったわけではありません。今もなお関東地方では、感染者が毎日のように報告されています。更に、世界規模では感染はまだ拡大中です。この感染症については、有効性が確認されたワクチンもまだありません。今後、流行の第二波、第三波が起こる可能性もあり、私たちはこの新型コロナウイルスと共存し、常に気を付けながら生活しなければなりません。

しかし、この感染症を防ぐ方法はわかってきています。厚労省は、5月4日に「新しい生活様式」を公表しました。「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」が、各自でできる基本的な感染対策であることには変わりなく、さらに移動時の注意、日常生活での基本的な生活様式、また外出時に注意すべきこと等が示されています。

本校でも「新しい様式による学校生活」を継続しています。一番大切なことは「三密を避けること」です。通学のバス、通学路、教室、特別教室、などでの「ソーシャルディスタンス」、そして「マスク着用・手洗い」は厳守事項です。学校が再開し、時間が経過した今、「気のゆるみ」は大敵です。学校としても、気を緩めることなく、皆さんの安全・安心のために感染対策を確実に続けています。

一方、行動の制限と同時に、多くの方が不安、いら立ちをなどのマイナスの感情を抱えてしまうことは、自然なことだと思います。しかし、その不安などの感情が、人に対する敬意を忘れて感染者や弱い立場の人への非難や攻撃、偏見や差別につながる言動には、絶対にしないように心がけなければなりません。そのために私たちに「求められている力」はどのような力でしょうか。

最近、アスリートやアーティストらが人々を勇気づけるメッセージ歌や音楽を様々なところで発信をしています。彼らも仕事等が思うようにできない中不安や不満を抱えて辛い日々を過ごしているに違いありません。しかし、その不安な気持ちがあるからこそ「希望・夢」をしっかりと持って人々を勇気づける発信をしているのだと思います。不安などのマイナスの感情は、当然あるのですが、それを打ち消し否定するというよりは、受け止めたうえで希望をもって「皆で一緒に乗り越えていこう！」というメッセージへと変えていく力が今を乗り越え生きるために必要な力ではないかと思います。

離任式 4月3日



講話

花束贈呈

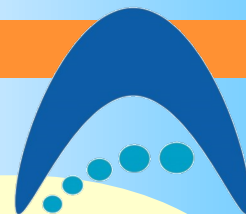
離任式 4月3日（金）

石塚則之 教諭
岸山朋文 教諭
清水智弘 教諭
岡本卓也 教諭
西原健 講師

着任の先生方

飯田雅史 教諭
荻野佳宏 教諭
大塚貴智 教諭
治部広夢 教諭
酒井大輝 講師
柳有香 養護教諭

人事異動に伴い、多くの先生が離任・着任なさいました。離任式では、離任される先生方が、在校生に向けて気持ちのこもったメッセージを贈られました。



入学式 4月6日



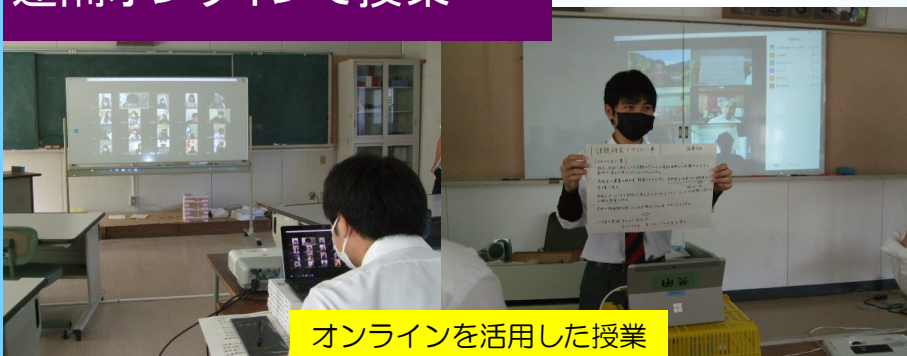
コロナ対策を十分に行う中、無事に入学式を挙行することができました。

休校中・分散登校



残念ながら、4月7日より休校になってしまいました。学習の遅れが出ないように、分散登校をして課題に励みました。

遠隔オンラインで授業



観光ビジネス類型では、パソコンを利用して地域の方々とオンラインでつながる授業も行っています。

生徒会選挙・認証式



昨年度より、延期になっていた生徒会役員選挙と認証式が行われました。これからの活躍に期待します。

今学期も本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございました。コロナ禍の中、生徒たちは学校生活に前向きに取り組んでいると思います。

8月5日（水）が1学期終業式で、8月26日（水）が2学期始業式です。

例年のほぼ半分とはいえ、夏の長期休業です。規則正しい生活を送り、実りある夏休みにしてください。課題なども早めに終わることができるようご家庭でもご協力ください。

また、3年生は8月19日（水）に出校日が設けてあります。進路実現のため、保護者の皆様と連絡を密にし、対策を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

愛知県立足助高等学校

豊田市岩神町川原5

電話 0565-62-1661

ホームページ

<http://asuke-h.aichi-c.ed.jp>